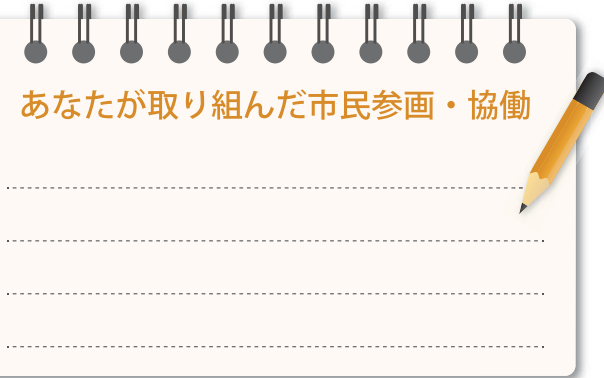


芦屋市の取り組み事例

より良い市民活動・協働を目指す上では、新たな試みを含めた試行錯誤の繰り返しが必要であるという視点に基づくものであり、本計画に示す取組は一例であり、限定するものではありません。

事例を積み重ね、共有することが市民活動促進の第一歩になると考えています。



芦屋まちデザインラボ

楽しくてワクワクできるまちに住みたい。働きたい。その思いを実現するためにどんなことをすればいいのか。どんなモノがあればいいのか一緒に考えたり学んだりする。



MIYAZUKA♥PROJECT

市民参画とは？活躍するとはどういうことか？を丁寧に考えながら、自分がしたいこと、できることを明らかにし、生まれ変わる旧宮塚町市営住宅との交差点を見つける。



宮塚公園ワークショップ

地域により活用される公園を目指して地域の方と協議を重ね、宮塚公園活性化協議会が結成された。



「こえる場！」

地域活動を行っている企業・団体等と芦屋市がつながり、「健康増進」「高齢者の社会参加」「全世代交流」を進め、様々なアイデアを実践していく。



地域発信型ネットワーク

各小・中学校区の各種福祉諸活動関係者による会議を結成し、地域課題を解決するためのネットワークの活用を行う。



第3次 芦屋市市民参画協働推進計画 2020年度▶2024年度

〔基本理念〕

市民参画・協働による住みよいまちづくり

条例に定める 市民・市民参画・協働とは

市民参画・協働は、地域の課題解決や市民主体のまちづくりを実現するための手法の1つであり、市民や団体、企業、行政の様々な主体が相乗効果を生み出しながら、新たな仕組みや事業を創り出すことだと考えます。

手段としての市民参画・協働のあり方は多様であり、課題の質や規模、取組の内容によって取り組む方法も様々であることを前提としつつ、参考となる視点を示すことで、より効果的な市民参画・協働の推進を図るものです。



市民

市内に在住・在勤及び在学する個人並びに市内で活動する法人その他の団体をいう。



市民参画

市民が市政に参加する意思を反映させることを目的として市の施策の企画立案、実施及び評価の過程に参加することをいう。



協働

市民及び市がまちづくりについて、それぞれの役割と責務を自覚し、互いに尊重し、補完し、協力することをいう。

計画策定の趣旨・位置づけ

芦屋市第4次総合計画では、市民参画・協働は市政の大きな柱の1つです。「第3次芦屋市市民参画協働推進計画」は、市民参画・協働の観点から、分野別計画同士を関連付けることで、市民と行政による住みよいまちづくりを推進することを目的としています。

施策テーマ1 情報発信

取組 1. 多様なツールを活用した参画機会の充実

相手や地域に合わせた編集・発信、市民活動、地域活動と市民が興味ある活動を結ぶマッチングの仕組み、地域と協働による情報発信の検討など、活動情報の発信を工夫します。

取組 2. 取り組みを促進する効果的な情報発信

市政情報を積極的に公開し「見える化」を進めます。地域課題やそれに対応した活動を共有できる環境を整え、協働で課題を解決する状況を目指します。

取組 3. 優れたデザインや分かりやすい表現での啓発

市民参画・協働を分かりやすい言葉で表現する、感性を刺激するデザイン性の高い情報発信など、地域活動への参画を促進する方法を検討し、市民も巻き込みまちづくり活動の活性化につなげます。

取組 4. 庁内での連携

市民参画・協働の成功事例、失敗事例を共有し、事例の活用方法を検討する場を広げていきます。

施策テーマ2 場づくり

取組 1. 市民や地域活動の支援に向けた環境づくりとプラットフォームの構築

まちづくり活動の主体を市民とし、その支援に向けた環境づくりと各種枠組みを構築します。

また、市民が互いに持っているノウハウや情報を生かす方法を話し合い、検討する機会を充実させて、協働の実践を広げていきます。

取組 2. 課題を地域の人と協議する場の提供

市民自らが、既存の枠組みにはない新たな社会的価値を生み出すため、地域の人と意見を交換する場などの仕組みをデザインします。

新たな価値を創造する場を検討し、魅力ある場の構築を目指します。



施策テーマ3 人づくり

取組 1. 地域サポーターの養成と活動支援

地域サポーターなど、協働をコーディネートできる人材の発掘・育成に取り組み、様々な主体が相互理解と合意形成をしながら地域課題を協働で解決するアイデアを実行できる支援体制の確立に取り組みます。

取組 2. 意識の変革と養成

市民に市民参画・協働の啓発と学びの機会提供を進めます。市職員には、研修を行い、意識改革と養成を行います。

また、課題を自分事として認識し、主体的な活動につなげるよう、意識の変革を促す仕組みを検討します。

取組 3. 市民参画・協働アドバイザー等の専門的人材の活用

市民参画・協働アドバイザーの活用等、専門的人材の活用を行います。

また、デザインやコピーライティング、ファシリテーション技術などを持つ人材を積極的に活用することを検討します。



施策テーマ4 市民参画・協働促進に向けたマネジメント

取組 1. 社会課題の探索(調査・研究)と実践

多様な主体との連携や情報交換等により新たな社会課題を絶えず探索するとともに、新たな取組の実践を繰り返すことで多様な事例を積み重ね、市民参画・協働を促進する仕組みを構築します。

取組 2. 市民活動の活性化と活動の継続性を高める支援

市民提案型事業補助金を通じて、市民の知恵とアイデアの結集を促し、満足度の高いまちづくりにつなげます。

また、コミュニティビジネス等を促進するなど、市民活動が継続的かつ発展的になるよう様々な支援のあり方を検討します。

取組 3. 政策関連事業の一体的な実施と資源の効果的かつ効率的な活用

施策間連携事業や目的を同様とする事業は、協働し、事業の相乗効果を図れるように促します。

また、庁内の各課が持つ魅力資源や多様な主体が持つ資源について、連携を図るなど、効果的、効率的な活用方法を検討します。



人・活動・情報をつなぐ仕組みづくりによる市民参画・協働の促進